



## 先生の考えで、「遊び」を創り出しましょう！

私が子どもの頃、田んぼや山に入って、誰かに教えられたわけでもなく、自由気ままに遊び回っていました。仲間が変われば、遊びも変わっていました。その日の気分次第で、遊び方が違っていました。子どもは、遊ぶのが仕事であり、遊びを通して、様々な事を学んだ気がします。最近の子どもたちは、自然の中での遊びを創り出すことが苦手ようです。自然学校期間中に、どんどん遊びを創り出してほしいものです。先日開催した第2回自然体験活動1日講座を参考に、「アクティビティ」と考えると難しいかもしれませんが、大自然の中での「遊び」と考え方を改めて、創り出してみてもはいかがでしょうか。

### 第2回自然体験活動1日講座を開催！



平成26年10月7日(火)に、「自然を感じる」をテーマに第2回自然体験活動1日講座を開催したところ、高等学校の10年経験者研修8名を含む43名の先生方に参加いただきました。

午前中は、自然とのふれあい活動「林間ことば集め」と「森のレストラン」を体験しました。



1つ目の「林間ことば集め」は、本校の敷地内を班ごとに散策しながら、自然の中の様々な様子を観察して、ことばに表してみると、どれだけ多くのことばに満ちているかを調べる活動です。蟻を見つけたら、記録用紙の「あ」のところに、「あり」と記入します。実際に見て確かめたことを記入するのですが、視線を地面から空まで向けてもらうことや五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）をふるに使うことを目的とします。「視野を広げる事の重要性と感受性を高めることの大切さを感じられた」と、述べられている先生もおられました。



2つ目の「森のレストラン」は、これも本校の施設内を班ごとに散策しながら、いろいろな形や色の自然物を集めて、食事のメニューを作り出す活動です。作り出すことの喜びを味わいつつ、活動を通してグループで色々なアイデアを互いに出し合うことにより、コミュニケーションを深めることも出来ます。「どんな料理を作ろうか想像することが楽しかったし、身近にある自然の素材をじっくりと観察して、創意工夫を生かした作品に仕上げられた」と、童心に戻り夢中になって取り組んだ先生もおられました。



午後からは、午前の体験をふまえて、それぞれの班独自のアクティビティ開発を行いました。

先生方には、特に、南但馬自然学校の自然を有効に活用することと、内容もさることながら、子どもたちがやってみたいと思えるようなインパクトのある活動名称も考えながら取り組むよう助言しました。また、言語活動の充実、他教科との関連、子どもに身に付けさせたい力など総合的に踏まえたアクティビティの開発が、本研修のねらいであることも伝えました。小・中・高等・特別支援学校の校種分け、初任者・10年経験者と経験の差で

班編成をしたので、今までの経験や日常の子どもたちとの関わりなどの勤務実態から、多様な考えを出し合い活発な意見交換をして、新しいアクティビティを創り出そうと意欲的でした。また、班ごとに開発したアクティビティの概要、目的、手順、留意点などを中心に、発表方法もそれぞれに工夫がなされていました。視覚に訴えるものも多くあり、自然学校だけでなく、小学校においては、生活科や理科、図画工作科、総合的な学習の時間等においても、取り入れてもらいたいのばかりでした。中学校の先生からは、「普段の授業では、今日のような取り組みや機会はないが、自然にあるものを使用して、色々な発想の中から創り出す学習の手法を自分のものにしていきたい」という前向きな感想もありました。



今回、受講して学んだことを学校教育の中に活かし、子どもたちに身近な自然に触れる素晴らしさや楽しさを伝えてくれることを期待したいものです。

### ☆参加者の感想より（一部抜粋）☆

- ・実際にアクティビティを体験した後に、自分たちで開発したことによって**留意点なども意識**できて良かったです。また、考えていた以上に考えたアクティビティの内容の難易度が高く、**自分たちで一度やってみて気付く**ことが多かったです。他のグループの案を知ることにより自分では考えつかないことも知れて良かったです。
- ・五感を使い、班で協力する工夫があるゲームは子どもだけでなく大人でも楽しめるものでした。**言語活動の充実や他教科との関連、子どもに身に付けさせたい力など総合的に踏まえた活動**を考えるのはとても難しいことだと感じました。
- ・アクティビティを経験することで、「**調べたい、知りたい、見つけたい**」という思いが、**どのようなきっかけをもとに生まれるのか**を実感することが出来ました。それをもとに、アクティビティ開発の活動を行ったので、散策しながらどんどんアイデアが浮かんできました。他のグループや10年目の先生と分かち合いが出来たので、新しいアクティビティや視点、考え方に気付くことができました。

### ☆ 受講者が開発した新規アクティビティ（主なもの） ☆

#### 1 ズームインしてZOOにin!

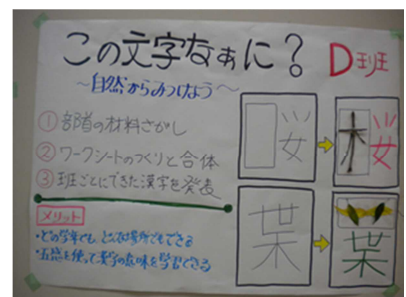
自然の中で、動物の色や形に似ているものを探していく。その材料を使って班毎に動物を作り、動物園を完成させる。材料集めや動物作成において、自然のものをよく観察することができ、班で相談することによりお互い協力できるゲームである。

#### 2 この文字なあに？

自然に落ちている木の枝や葉などを使用して、漢字を完成させる。木辺や草かんむり、さんずい辺、竹かんむりなど、自然に関連のある部首が抜けている漢字がたくさん示されたワークシートを持って班毎に学校内に探索に行く。

#### 3 耳をすませば

自然に落ちている木の枝や実、葉などを利用して、様々な音を作る。どんな音が出るのか確かめつつ、3種類の楽器（音が出せるもの）を班で話し合いながら作成する。音当てクイズでは、材料が見えないようにした状態で音を出し、他の班の人に当ててもらおう。音をしっかり聴けるように目を閉じ、耳をすますようにする。



### 編集後記

今回は、第2回自然体験活動1日講座での様子を紹介しています。自然の中での遊びを先生自身が楽しんでもらいたいと思っています。創るのも・・・。(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)